

事業所名	放課後等デイサービス 東ぼっぴこ〜んクラブ			公表日	令和7年 3月	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		東特別支援学校の施設をお借りしているため、広い活動スペースが確保されています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準の職員配置数に加えて、活動内容や子どもの特性に応じて安全に活動できる職員配置に努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		学校内は、スロープや多目的トイレなどが設置されており、バリアフリー化がされています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動に合わせて、活動空間をテントやパーテーションで仕切り、あそびのスペースと静かにくつろげるスペースを分けて環境設定を行っています。活動前後に掃除や安全点検を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要に応じて個別の部屋を用意し、少人数でのグループ活動を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎日、前日の支援の振り返りと当日の活動内容や配慮事項を確認しています。振り返りから支援の改善点を共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎年保護者向けアンケートを実施しています。保護者の方からいただいた意見を参考に、業務内容の改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎年職員セルフチェックリストを実施しています。また、普段から意見を言いやすい職場環境を作り、業務改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者による外部評価は、現在行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人内外の研修に積極的に参加し、学びを職員間で共有することで、職員全体の質の向上に努めました。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	今年度、5領域の視点を踏まえた支援プログラムを作成しました。	令和7年3月に法人ホームページにて公表予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		モニタリング会議を行い、お子さんと保護者のニーズや課題を職員間で分析し、計画を作成しました。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		モニタリング会議を行い、お子さんの様子や今後の課題などを検討し、職員間で共通理解を図っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援計画を全職員で共有し、計画内容を確認しながら支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		ムーブメント教育療法のMEPA-Rや学校と統一したアセスメントツールなどを使用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		放課後等デイサービスガイドラインに沿った支援に必要な項目を把握し、お子さん一人ひとりに合った支援内容を設定しています。	5領域に関する支援内容について、知識を深められるよう学びを深めていきます。

	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎月イベント会議を開催し、意見を出し合い、役割分担や活動内容を決め、支援を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節の行事や子どもたちの興味関心があるもの・流行のものを積極的に活動に取り入れるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		お子さん一人ひとりの興味や特性に合わせ、個別活動と集団活動をバランスよく取り入れて活動しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日支援前に打ち合わせを行い、活動内容や配慮事項、役割分担などを確認し、共通認識を持って支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後にその日の様子などを記録し、翌日に打ち合わせを行い、職員全員で支援を振り返り、情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援終了後に記録をとり、記録を基に、翌日の打ち合わせやモニタリング会議等で支援の検討・改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		6か月に1回を基本としてモニタリング評価を行い、必要があれば個別支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		基本活動を取り入れたバランスの良い総合的な支援の提供ができるよう努めています。	近隣のコンビニやスーパーなどへ出かけ、買い物体験の機会を増やすなど、地域との交流を深めていきたいと考えています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		「やってみよう」と自発的に取り組める活動を用意し、やりたい活動を自己選択できるように工夫しています。	自己選択、自己決定の意思表示が難しいお子さんには必要に応じて、絵カードを使用し自己選択ができるよう努めています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者会議には、児童発達支援管理責任者や支援にあっている職員が参加し、情報共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		今年度は、児童相談所、基幹相談支援センター、医師との連携を強化し、連携して支援を行う体制を整えました。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		東特別支援学校の先生方とは日頃から情報を共有し、密に連絡を取り合うことが出来ています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		相談支援事業所を通じて就学前の様子をお聞きしたり、児童発達支援事業所から資料をいただき、情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		保護者の了承を得て、相談支援事業所を通じて支援内容等の情報を提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		必要に応じて、連携を図っていききたいと考えています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		地域の子どもと交流する機会を設けることが難しいため、今後検討をしていきたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		現在参加はしていません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			連絡帳や送迎時にその日の様子をお伝えしたり、ご家庭の様子をお聞きし、共通理解を図っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		必要に応じて送迎時や面談時に事業所で実施しているお子さんとの関わり方をお伝えしています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っています。変更があった際には、その都度おたより等で知らせています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		担当者会議に参加し、お子さんや家族の意向を確認しています。お子さんが意思表示が難しい際は代弁させていただきます。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		支援計画を更新した際に、保護者に説明を行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		家族等から相談があった際には、保護者の思いに寄り添い、相談支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		5		現在、保護者会等の機軸は設けていませんが、今後要望があれば開催を検討していきたいと考えています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情があった場合には、苦情解決のマニュアルに沿って適切に対応していきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		活動写真付きのおたよりや避難訓練実施の案内等を発行し、必要な情報の発信を行っています。	長期休暇時のみご利用の方にも郵送等でおたよりを配布し、情報発信に努めています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報に十分注意し、鍵付きのロッカーで保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		お子さんの特性に合わせて、絵カード、写真カード、スケジュールボードなどの視覚支援ツールを使用しています。	お子さんの特性に合わせてスケジュールボードの見直しを行う必要性を感じています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	地域のイベントや学校内の作品展にお子さんの作った作品を展示し、活動を地域に発信する機会を設けました。	地域住民の招待は行っていませんが、今後も地域参加に努めていきたいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	各種マニュアルを作成し、職員がすぐに確認できる場所に保管しています。	保護者にマニュアルをより周知していただけるよう、おたより等でお知らせに力を入れていきたいと考えています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年4回の避難訓練を実施し、災害時に備えた訓練を実施しました。非常食試食も実施しました。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時に聞き取りを行っています。服薬等変更があった際には、その都度保護者の方からお知らせいただき、共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		医師の指示書に基づき、アレルギー対応を行っています。エビペンの管理について学校や保護者と共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画に基づき、必要な研修や訓練への参加を行い、安全管理に努めています。	学校の施設をお借りしているため、安全計画の共有を行っています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	避難訓練のおたよりを発行し、避難場所や緊急連絡先、アレルギーフリーの非常食の用意などの周知を行いました。	ご家族等へ周知されるよう、おたより等でお知らせに努めていきたいと考えています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットがあった際は報告書を作成し、職員で再発防止に向けての話し合いを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		法人内外の研修に積極的に参加しました。日頃から支援の振り返りを大切にし、虐待防止の取り組みを行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		現在対象のお子さんはいませんが、必要な場合は、保護者との話し合いや職員間でのミーティングで、適切な支援について検討しています。		